

花の器

栗田 果奈穂

詩流は

“交”

21世紀に ことばの橋を架ける

この世に
一輪の花が開く
ということは
この世にその人の
魂が巡り始めるということ

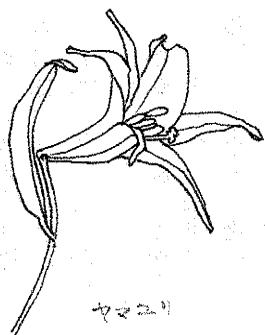
一輪の花の開花は
種を約束されたいのち

けれども人は一人では
種になれないと

触れ合ういのちの営みに
出会えてこそ

結べる種

種はその人の一生が
インプットされる器



ヤマユリ

話仙花出版

ことば道場 花輪楽版 每月月末発行

(発行支援者を募集しています。一年間 一五〇〇円)

※グループで“ことば道場”を体験したい方は、連絡をいただければ、出張いたします。

個別対談 五〇分 三〇〇〇円

(表記の電話・FAXにて、場所・日時の予約をして下さい。)

栗田 果奈穂 ことば道場 ことば編集人

詩人カウンセラー 楊唱人

ネイチャーカウンセリング 楊唱人

巡回「詩と写真展」三十五回展まで

ぼえむカード(詩と写真集) “観光とやま” “語らい”

私製はがき 8枚セット 五四〇円(税込み)

郵便振替 〇〇七七〇六・四四九七八 深山節代

※ “憲法違反”を“憲法違反”と、同定してもらえない不幸が、
浸透してゆく恐ろしさ。自分たちが生かされているその世界
に対する無知は、いずれ、平凡な日常を、破壊の方向に、
導く。歴史は、そう語っている。

(穂)